

1. 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査対象学年

小学校：第6学年児童 中学校：第3学年生徒

3. 調査内容

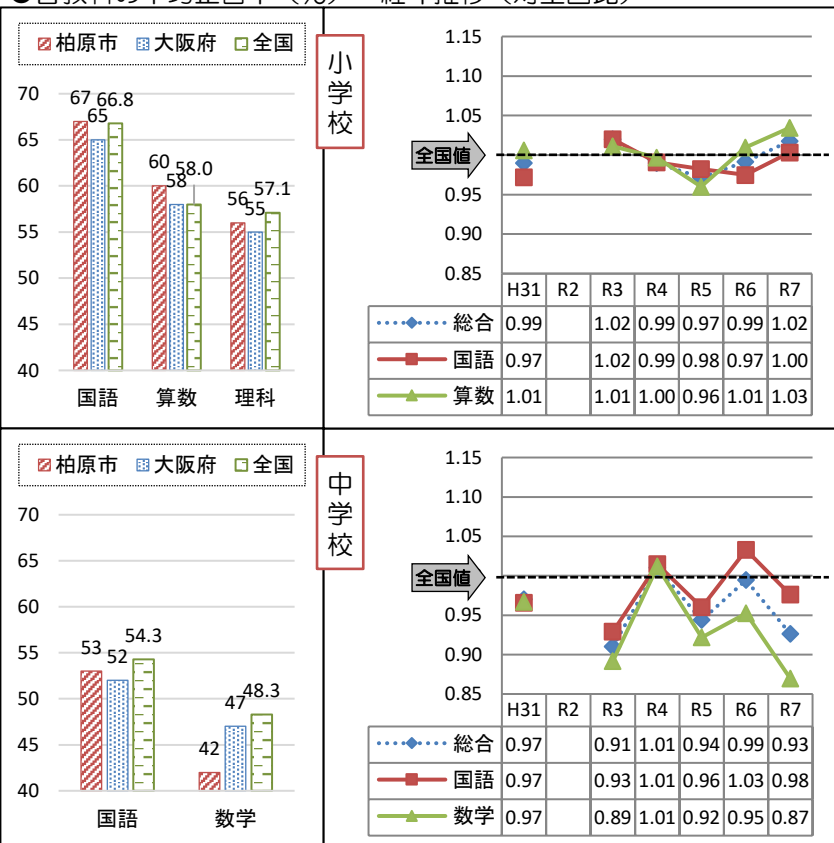
(1) 教科調査 小学校：国語・算数・理科 中学校：国語・数学・理科

(2) 質問調査

調査問題：<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

結果資料：<https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/>

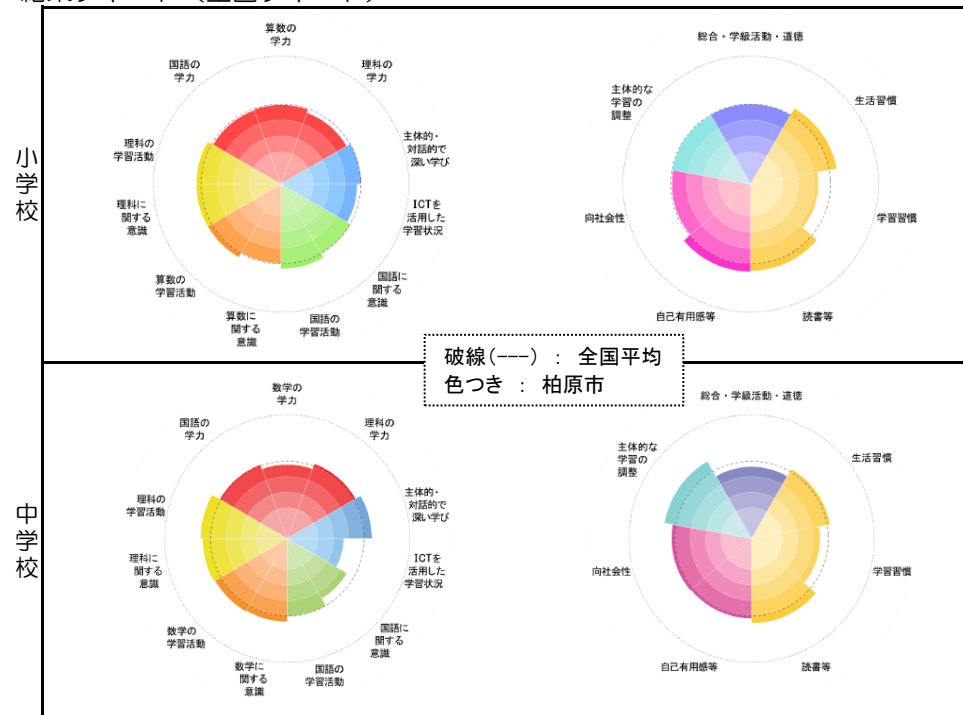
●各教科の平均正答率(%)・経年推移(対全国比)



●児童・生徒質問調査

■ 結果チャート(全国チャート)

※教科調査・質問調査の結果を全国値を基準に図示したもの



■ 質問項目よりわかること

①基本的な生活習慣等について

- 朝食、就寝や起床時間等、規則正しい生活習慣が概ね身についている。
- 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等について概ね肯定的である。

②学習習慣・学習環境等について

- ICT機器の活用に効力感を感じており、基本的な活用に自信を持っている(小学校)。
- ▼ 授業でICT機器を活用する機会が少ない。
- ▼ 平日・休日ともに授業外で勉強をしている時間が短い(ICT機器を勉強に使うことも少ない)
- ▼ 平日の授業外で読書を全くしない児童生徒が一定数いる。

③授業改善等について

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が進んでいる。
- 理科の授業では、観察や実験をよく行い、結果から学びを深めている。

※多くの項目で継続的に改善傾向にある(肯定的な割合の増加)。

詳細な結果を記載した参考資料は市HPに掲載しています。

https://www.city.kashiwara.lg.jp/docs/2021110900019/file_contents/file_R7zenkokuqakuchou_sankou.pdf

